

伊豆大島の航空磁気測量結果について (速報) *

Results of the aeromagnetic survey around Izu-Oshima

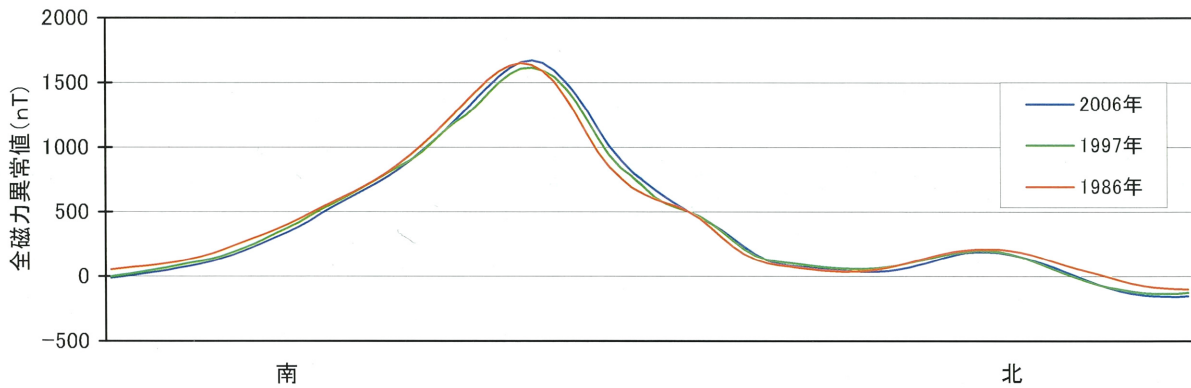
海上保安庁海洋情報部

Hydrographic and Oceanographic Department, Japan Coast Guard

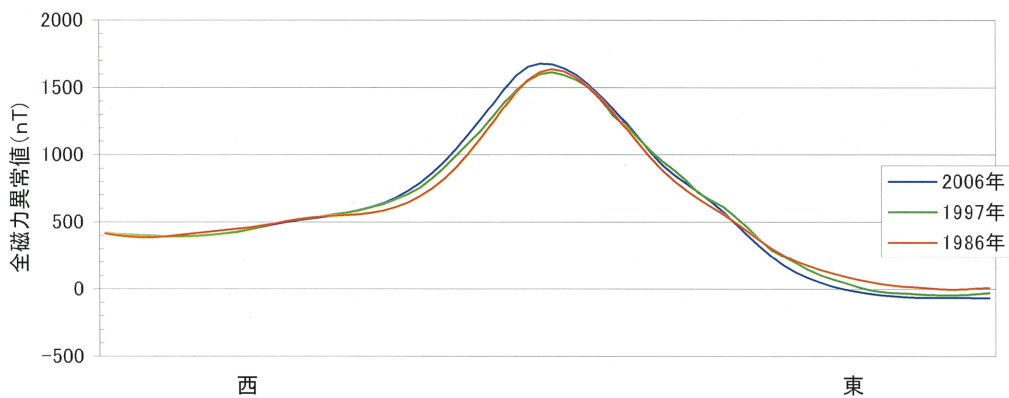
海上保安庁海洋情報部では伊豆大島の航空磁気測量を2006年2月及び3月に実施した。伊豆大島の航空磁気測量は1983年、1986年、1997年、2003年に実施している。今回はこのうち1986年、1997年、2006年の地磁気アノマリー分布について報告する。なお、日変化補正には八丈水路観測所のデータを使用した。また、標準磁場はIGRFを使用し、観測高度は2006年1100m、1997年1370m、1986年1290mを1500mへ上方接続し比較した。

西東方向及び南北方向のアノマリー分布のプロファイルを見ると、顕著な変化は見られないものの、1986年に比べ、1997年、2006年とも振幅が大きくなっているように思われる。今後は今回の観測結果を基により詳細な解析を行い、磁化強度分布の比較結果を報告する予定である。

全磁力異常分布断面図(南北方向)高度 1500m



全磁力異常分布断面図(東西方向)高度 1500m



第1図 伊豆大島の1986年、1997年及び2006年の全磁力異常分布断面(上：南北方向、下：東西方向)

Fig.1 Profile of geomagnetic total intensity anomaly in 1986,1997,2006 (upper:north and south,lower:west and east)

* Received 2 August, 2006

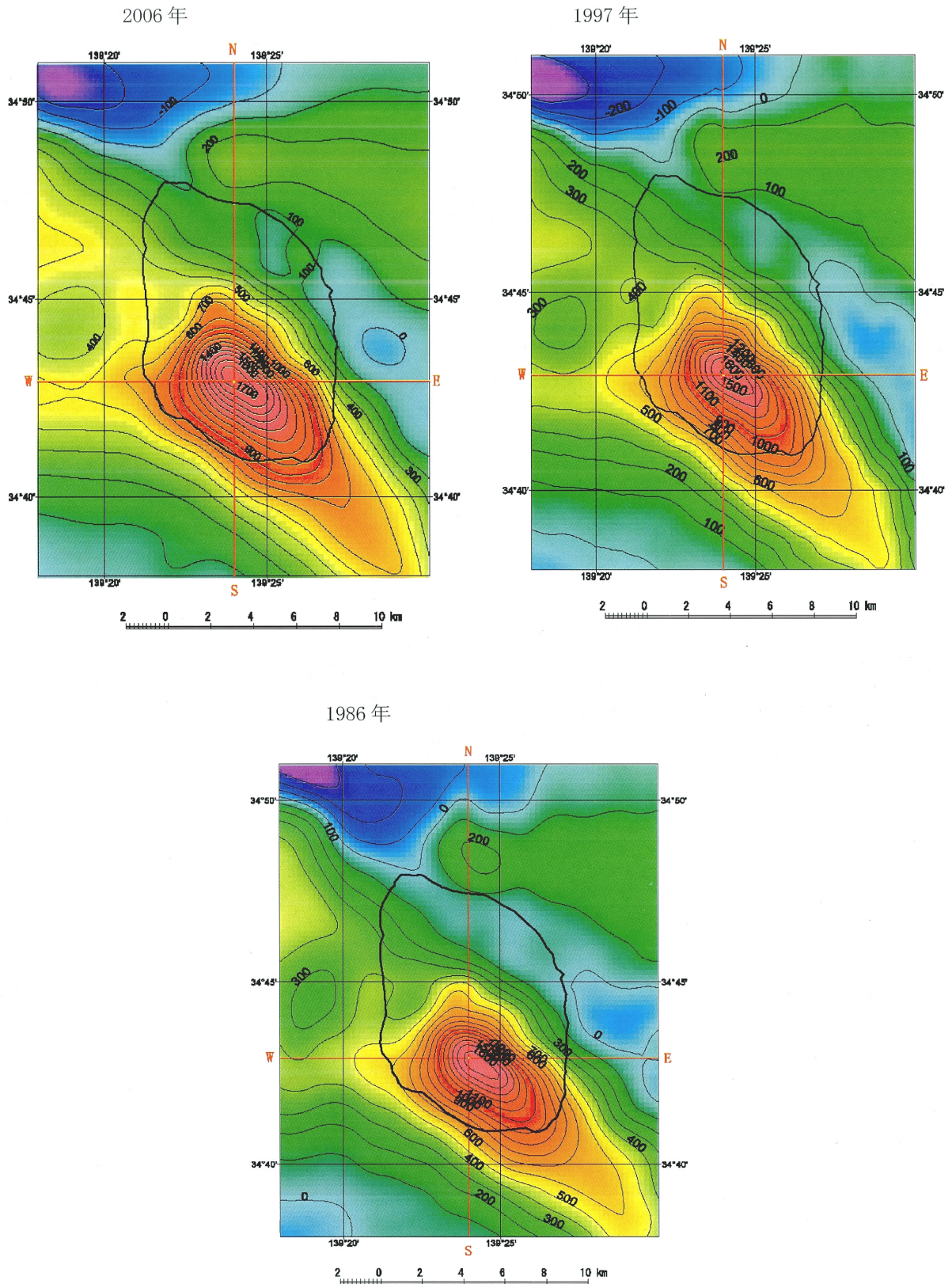


図2 伊豆大島における2006年(上左図)、1997年(上右図)及び1986年(下図)の全磁力異常図
 Fig.2 Geomagnetic total intensity anomaly in Izu-oshima (upper left:2006, upper right:1986, lower:1986).